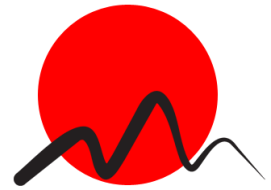


Slovenia Monthly

May 2016
vol.2-no.5

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年6月7日



～5月の主なポイント～

- 政治：**EU難民再移転計画の第一弾となる難民28名がスロベニアに到着。
ペルシャク新文化大臣、国会の大多数の賛成を受け就任。
ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合がサラエボで開催され、パホル大統領が出席。
- 経済：**欧州委、スロベニアの過剰財政赤字是正手続き脱却を欧州理事会に勧告。
IMD競争力ランキングでスロベニアは順位を6つ上げ43位に。
- 軍事：**大量破壊兵器軍備管理・軍縮不拡散に関するNATO年次会合がリュブリャナにて開催。
- 治安：**イタリアで捜査対象のスロベニア人容疑者がスロベニアで逮捕。国内でテロ計画情報はなし。
- 社会：**欧州環境機関(EEA)がスロベニアの海水浴場の水質を高く評価。

政治

【内政】

●EU難民再移転計画の第一陣となる難民が到着【12日】

EUの難民再移転計画に基づき、シリア及びイラク国籍の難民28名がスロベニアに到着した。これらの難民は既にギリシャにて難民申請を行っており、到着後は難民センターに滞在し、個別にスロベニア国内での手続きを経て難民認定を受けた後、リュブリャナやマリボルに所在するスロベニアでの生活に順応するための施設(Integration house)に移ることとなる。

再移転計画では、本年と明年でイタリアから218名、ギリシャから349名の合計567名がスロベニアに再移転される予定である。

●スロベニア建軍記念日に際するパホル大統領の発言【15日】

パホル大統領は、スロベニア建軍記念日の式典に出席し、軍への投資増加を要請した。同大統領は、スロベニアにおける生活水準の向上が治安において最も重要であることには変わりがないとしつつも、国際的に安全保障への脅威が高まっている中で、国防システムと軍隊の強化が必要であり、スロベニアは

NATOの防衛能力強化に対する義務と利益がある旨述べた。

●労働省が新雇用政策案を発表【18日】

ムラク労働相は、失業者全体の50%を占める長期失業者の削減を目的とする新たな雇用活性化政策を計画していると発表した。本政策には本年度予算より欧州社会基金からの5900万ユーロを加えて計1億ユーロが充てられる予定で、1年以上のフルタイム雇用の促進、社会保障業務での有償インターンシップ、実地訓練及び失業者への新たな相談サービスの開設等のプログラムが計画されている。

●ペルシャク新文化大臣の就任【20日】

国会において、ペルシャク新文化大臣の信任投票が行われ、大多数の賛成を受けて新大臣に就任した。

ペルシャク文化相は、就任後の宣誓で、連立合意の実行のため、迅速かつ精力的に大臣職に取り組むとし、メディアや法制度等の分野を含む行動計画を策定することが最優先事項である旨述べた。

ツェラル首相は、同大臣が組織的な変革を進め、関係者との対話や他の閣僚と協力し連立合意を実施することに期待を表明した。

【外政】

●ゴレンツ米空軍欧州・アフリカ司令官の訪問【14日】

ゴレンツ米空軍欧州・アフリカ司令官兼NATO空軍司令官がスロベニアを訪問し、ツェラル首相と会談を行った。両者はスロベニアと米軍、NATOとの協力は順調に進んでいると評価した上で、スロベニア軍のおかれた状況の改善や、如何にしてスロベニアがNATOの責任ある加盟国の地位を維持していくか等の課題につき意見交換を行った。

ゴレンツ司令官は、ロシア情勢に関しロシアの行動は懸念材料であるが、重要なのはNATOの同盟関係を強化し、モスクワの潜在的な将来の活動を抑止することである旨述べた。

●ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣の訪中【19日】

ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣は、中国政府及び世界観光機構(WTO)の共催により開催された「第1回開発のための観光世界会議」出席のため中国を訪問した。

同大臣は、Li Jinzao 中国政府観光局長及びシュレフトヴァー・チェコ地域開発大臣と三者会談を行い、現在、北京・プラハ間に就航している航空便をリュブリャナ経由とすることの可能性につき意見交換を行った。

また、同大臣は、Wan Gang 中国科学技術部長との間で、両国間の技術協力について協議したほか、投資会社「Everbright Group」との間に、マリボル空港やコペル〜ディヴァチャ間鉄道第2路線建設など、スロベニアの国営企業の民営化及び潜在的なインフラ案件につき意見交換を行った。

●ファヨン欧州議会議員のコソボ国民査証免除のラポルトゥールへの任命【22日】

欧州議会は、ファヨン欧州議会議員(スロベニア出身)を、コソボ国民に対する査証免除のラポルトゥールに任命した。欧州委員会はコソボ国民に対するEU査証の自由化を提案しているが、EU加盟国及び欧州議会により承認される必要がある。ファヨン議員は、第1回目の議員就任時に、西バルカン諸国の国民に対する査証自由化のラポルトゥールを務めた経験がある。

●世界人道サミットへのツェラル首相の出席【23日・24日】

ツェラル首相は、イスタンブールにおいて開催された世界人道サミットの全体会合に出席し、人道的災害及び人道危機におけるスロベニアによるタイムリーで効率的な支援継続を約束した。同首相は、スロベニアはODAの約10%を人道支援に割り当てており、予防的活動、支援活動及び人間の安全保障や人権分野のプロジェクトを積極的に行っている旨述べた。

また、同首相は、閉会セッションにて、スロベニアは難民関連法制、難民危機の原因及びその結果に対処するための措置の履行に向け最大限の努力をしていく旨述べた。

●スロベニア・フランス外相会談【24日】

エリヤヴェツ外相は、パリで開催された欧州外務理事会のサイドラインでエロー・フランス外相と会談を行った。両外相は、二国間関係や西バルカン情勢について協議し、戦略的パートナーシップや2015年～2018年期行動計画を初めとする良好なスロベニア・フランス関係を確認した。また、両外相は、経済分野において、グリーンテクノロジーやインフラ部門での更なる協力を要請し、エリヤヴェツ外相は、スロベニア及びフランス企業の第三国市場への共同進出を提案した。

●第5回「アフリカの日」の開催【25日・26日】

スロベニア政府の主催による第5回「アフリカの日」が開催され、アフリカ大陸の開発を進める上での課題及びスロベニアとアフリカとの繋がりにつき意見交換が行われた。

パホル大統領は、スロベニア独立以来、国会及び大統領レベルでのアフリカ諸国との交流は主にマルチの場で行われてきたとし、スロベニアは、高いポテンシャルを有するアフリカ大陸にもっと注目すべきであり、アフリカ諸国との協力を深化させるべきである旨述べた。

2日目は、アフリカ16カ国から40名のビジネス関係者の参加のもと、スロベニア及びアフリカ諸国間のビジネス拡大及び投資環境改善につき議論が行われ、ICT分野でのビジネス拡大に焦点を当てるべきとの考えが示された。

●ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合の開催【28日・29日】

サラエボにてブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合され、パホル大統領は会合後、EUは拡大プロセスに取り組んでおらず、これによりEUやNATO加盟

を目指す諸国による改革を損なうべきではない旨警告した。また、同大統領は、西バルカン諸国の正式な加盟なくしてEUを完全なものとする見なすことはできず、二国間問題の解決とEU加盟に必要な改革の実行のために、西バルカン諸国の内なる強さを見つければならない旨述べた。

ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣は、併せて開催されたビジネス会議「サミット100」にて、日本や中国などの遠隔国を含む外国からの観光客誘致における地域協力の潜在性を強調した。



(写真: スロベニア大統領府)

経済

【マクロ経済・統計】

● 欧州委によるスロベニアの過剰財政赤字是正手続き脱却勧告【18日】

欧州委は、昨年のスロベニアの財政赤字が対GDP比3%を下回ったことを受け、「過剰財政赤字是正手続き」からの脱却を欧州理事会に勧告した。

一方で、欧州委は、スロベニアに対し、①長期的な保険制度改革及び2017年までの年金制度改革の実施、②職業能力の低い労働者や高齢労働者の雇用、③ビジネスに対する財政状況の改善、④公共行政の近代化及び国営企業のガバナンスと運営能力の向上を提言した。

これを受けて、ツェラル首相は、欧州委の勧告を歓迎しつつ、長期的な成長と発展を確保するためには、スロベニアにおける構造改革の必要性に変わりはない旨述べた。

● 第1四半期は2.5%のGDP成長率を記録【31日】

スロベニア統計局は、本年第1四半期のGDP成長率が年率で2.5%を記録し、去年同期比で0.5%増となった旨発表した。輸出は去年同期比で5.3%増となり、引き続き経済成長の主要因で、全体

のGDP成長率のうち1.9%に貢献している。国内消費は1.2%増を記録し、家計消費は0.6%増であった。一方で、投資は2007～2013年間にEU基金の支援を受けた事業が終了したことを受けて、1.5%減となった。

スロベニアに迫る！⑩

スロベニアの競争力(IMD競争力ランキング)

スイスの国際経営開発研究所(IMD)は、2016年の競争力ランキングを発表し、スロベニアは昨年より6つ順位を上げて43位となりました。

評価対象の4分野の中で、スロベニアは「インフラ」分野で最高の30位を獲得しましたが、「ビジネスの効率性」では53位にとどまり、労働市場や海外企業への開放が大きな課題となっています。

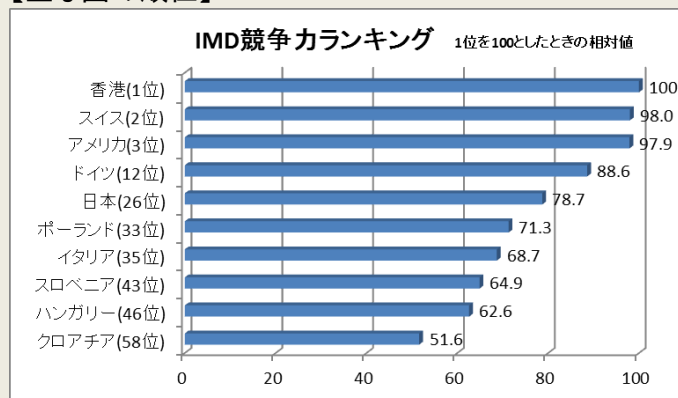
他方で、労働者の高度な教育水準と信頼性の高いインフラがスロベニアの強みで、R&Bも他の中東欧諸国に比べて高水準となっています。

各分野におけるスロベニアの順位と主な国の順位は以下のとおりです。

【評価対象4分野におけるスロベニアの順位】

- ・総合評価: 43位(昨年49位)
- ・経済状況: 43位(昨年42位)
- ・政府の効率性: 45位(昨年52位)
- ・ビジネスの効率性: 53位(昨年56位)
- ・インフラ: 30位(昨年33位)

【主な国の順位】



【金融・企業関係】

● 新リュブリャナ銀行のIPO準備の発表【12日】

スロベニア国家ホールディング(SSH)は、民営化戦略の対象企業である新リュブリャナ銀行(NBL)の新規株式公開(IPO)の準備を行うと発表した。SSHは、本決定はドイツ銀行の調査に基づいてなされた

もので、IPOは民営化に向けた最も適当な解決策であり、国のNBLの株式所有率を25%まで引き下げて残りを売却するという民営化戦略に則っている旨説明した。NLBは、2013年に政府による銀行への資金援助を欧州委が承認する条件として、2017年末までに民営化されることとなっており、IPO手続きは今秋初旬に計画されている。

●ガシュペルシッチ・インフラ大臣の中国・中東欧「16+1」ロジスティック会合への出席【16日・17日】

ガシュペルシッチ・インフラ大臣は、ラトビアのリガで開催された、中国・中東欧「16+1」枠組みのロジスティック分野での協力強化に関する会合に出席し、現代のシルクロードとスロベニアを通過する輸送回廊の接続に期待を表明した。

同大臣は、コペル港の立地の良さを強調し、中国からの船舶は同港を利用することで北ヨーロッパ諸港に比べ最大7日間の輸送期間を短縮できる旨述べた。また、同大臣は、コペル～ディヴァチャ間鉄道第2路線建設計画における中国投資家との協力の可能性についても指摘した。

●エラン社スキージャンプ用スキー板製造事業の売却先決定【26日】

先月19日にスポーツ用品メーカーのエラン社が撤退を発表したスキージャンプ用スキー板製造事業部門(4月号ご参照)を、スロベニアのスラットナー・カーボン(Slatnar Caebon)社が引き継ぐことが決定した。同社は、スキーブーツ及びブーツとスキー板の接続部品の製造会社で、今後はスキー板の製造も手がけることとなる。

今後は「スラットナー(Slatnar)」という新しいブランド名となるが、エラン社スキー板製造部門のスタッフと施設がそのまま新会社に引き継がれ、2015年男子スキージャンプWC優勝者のペテル・プレウツ選手(スロベニア)は同社の製品を使用することを既に発表している。

スロベニアに迫る！①

近代養蜂の父、アントン・ヤンシャ

スロベニアはハチミツの名産地として知られており、スロベニア全土で約1万戸の養蜂農家があります。スロベニア産ハチミツは品質の評価が高く、これはスロベニアの風土と養蜂産業の長い伝統によるものです。

スロベニアにおける近代養蜂の父と言われるアントン・ヤンシャ(Anton Janša)は、世界的に見ても養

蜂業におけるパイオニアです。ヤンシャは1734年、スロベニア北西部ゴレンスカ地方の養蜂農家に生まれました。彼は絵の才能にも恵まれていましたが、養蜂家になることを決め、ウィーンで学びました。ヤンシャは新たな蜂箱の設計、雄バチと女王バチの役割の定義、ソバの花のハチミツの生産技術の確立など多くの功績を残しました。また、彼は持って生まれた絵の才能を生かし、蜂箱に絵を描くスロベニアの伝統も有名にしました。

ヤンシャの評判はすぐにハプスブルク帝国のマリア・テレジア女帝の耳に入り、インペリアル・ガーデンのお抱え養蜂家に任命されることとなります。ヤンシャの死後、彼の著作はハプスブルク帝国内における養蜂の公式教科書となりました。

スロベニアがハチミツの国と言われる理由は養蜂家の活躍だけではありません。スロベニアを原産とするカルニオラ・ミツバチは、方向感覚が優れ、ハチミツの生産能力も高く、えさも少量ですむとして、評価の高い品種です。このミツバチは養蜂産業で世界的に使われており、世界第2位のシェアを誇っています。



(写真:スロベニア観光局)

軍事

●大量破壊兵器軍備管理・軍縮不拡散に関するNATO年次会合の開催【10・11日】

大量破壊兵器軍備管理・軍縮不拡散に関するNATO年次会合がリュブリャナで開催され、ヴェルシュボーNATO副事務総長は、開会スピーチで、国際社会はテロを含め多くの課題に直面しており、テログループの規模及び大量破壊兵器の技術力が増している中で、これらの脅威に真剣に対処する必要がある旨述べた。

また、ビズヤク国防次官とドウカルNATO事務総

長補(新興・先端安全保障問題担当)との間でサイバー防衛に関する新たな覚書が署名された。

治安

●スロベニア人テロ容疑者の拘留【9日】

アルファノ・イタリア内相は、イタリアにてテロ容疑で告訴されている26歳のスロベニア人が、6日、欧州逮捕状に基づき、イタリア軍警察主導の合同捜査でスロベニア警察により逮捕され、留置された旨発表した。

スロベニア警察は、同容疑者はスロベニア国内におけるテロ容疑者としての捜査対象とはなっておらず、現時点において、国内におけるテロの実行・計画情報には一切接していない旨発表した。

社会・文化・スポーツ

●スロベニア化学研究所のミミズ研究による発見【13日】

スロベニア化学研究所は、ミミズの毒素により作られる細孔の構造分析に成功し、その結果を「Nature Communications Journal」に発表した。この研究の結果は、ナノセンサーの開発や細菌感染への新たな対処方法の開発に大きく貢献することが期待されている。本件プロジェクトは化学研究所の分子生物・ナノ生化学部がコーディネーターとなり、オックスフォード大学、日本の理化学研究所、オックスフォード・ナノポア一技術社と共同で進められてきた。

●スロベニアの海の水質調査【25日】

欧州環境機関(EEA)は、各国遊泳場の水質に関する報告書を発表の中で、スロベニアの海水浴場の水質が欧州の中で最もきれいなカテゴリーに位置すると発表した。一方で、川や湖の水質は他の欧州諸国と同等であるとしている。スロベニアには48箇所の遊泳場があり、沿岸の海水浴場のほか、国内の河川、ブレッド湖やポーヒン湖にも設けられている。

発見！スロベニア

スロベニアの切手

スロベニア郵便は1991年以来、スロベニアの自然、文化遺産、芸術作品、国内外のスポーツイベントをデザインした900を超える切手を発行しています。

新たなデザインの切手は毎年発行され、発行後1年間に限り販売されます(売り切れた場合を除く)。今年の5月6日には、昨年の男子スキージャンプWC

の優勝者であるペテル・プレウツ選手の記念切手が発売されました。

また、スロベニア郵便は「個人切手」サービスも行っており、自分のデザインした切手を作ることができます。値段は切手シート1枚(シート1枚で切手最低20枚以上)で16.8~23ユーロとなっており、切手1枚あたりの値段は0.84~1.15ユーロです。



(ペテル・プレウツ選手の記念切手、写真:スロベニア郵便)

発見！スロベニア

スロベニアのエルサレム

皆さんは、スロベニアにもエルサレム(Jerusalem)と呼ばれる場所があるのをご存じでしょうか。エルサレムは、スロベニア北東部、クロアチア国境に近いリュトメル(Ljutomer)市の丘陵地帯に位置する村で、上質な白ワインの生産地として知られています。また、エルサレムではハイキングやサイクリングも人気で、宿泊施設やレストランを有する多くのワイナリーがあります。



(写真: 悲しみの聖母教会)

エルサレムは日当たりのよい丘陵地帯に位置するため、ローマ帝国時代からワインが生産されており、ローマ帝国パンノニア属州シルミウム(現在のセルビア西部スレムスカ・ミトロヴィツァ)出身のマルクス・アウレリウス・プロブス第47代ローマ皇帝が当時の東方拠点ポエトヴィオ(現在のプトゥイ市)に立ち寄った際に、エルサレムのワインを賞味し、大絶賛したそうです。



(写真: エルサレム丘陵)

エルサレムの名称は、11世紀の十字軍派遣の際に、ドイツ騎士団がエルサレム遠征の途中に立ち寄り、風光明媚な土地柄と上質なワインをいたって気に入り、その地をエルサレムと名付けたことが起源とされ

ています。一説には、一部の十字軍兵士はその地に残留したそうです。こうした歴史的背景もあり、現在でも多くのドイツ人観光客がエルサレムを訪れています。



(写真: 典型的なブドウ畑)

エルサレムでは多種多様なワイン(主に白)が生産されていますが、その中でも、フルーティーさと適度な酸味のバランスで知られるシボン(Sipon)がお勧めです。シボンは、ハンガリーではトカイ・ワインの原料となる品種で、一般的にはフルミントと呼ばれていますが、ナポレオンがそのワインを飲んだ際に、美味しさのあまり「Si Bon!(非常によい)」と連呼したのがその名前の由来という説もあります。その他には、白ではリースリング、ソービニオン、トラミネール、マスカット等、赤ではピノ・ノアール等が生産されています。



(写真: 典型的なブドウ畑)

皆さんも、エルサレム丘陵の複雑な高低差、傾斜の違い、畑の向きによる日照量の違いによる「ミクロクlima(局所気候)」が生み出す、多種多様且つ繊細な味のワインを試されては如何でしょうか。

(エルサレムのワインツーリズム情報)

http://www.sloveniaforyou.com/WineSlovenia_Jeruzalem.htm

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックが出来ました！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願ひします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●第5回日本文化紹介行事「Japan Day 2016」

今年で5回目を迎える Japan Day では、新しいコンテンツを加え、さらにパワーアップした内容で様々な日本文化を紹介。出展内容やプログラム等の詳細はホームページにて。

日時: 6月11日(土) 午前10:00～午後17:00

場所: Gospodarsko Razstavišče

(住所: Dunajska cesta 18、1000 Ljubljana)

●裏千家・千玄室大宗匠による講演及び茶道デモンストレーション

茶道裏千家の千玄室大宗匠(第15代前家元)が、裏千家淡交会スロベニア協会設立の記念式典に合わせてスロベニアを訪問し、記念講演会及び茶道のデモンストレーションを行う予定です。満93歳を迎えた大宗匠による平和への思いが込められた講演会へ是非お越し下さい。

日時: 6月26日(日)

場所: グランド・ホテル・ユニオン

要予約(予約方法は、当館のホームページ等で告知します。)

●池坊華道デモンストレーションと尺八・ビオラのコンサート

池坊家督・目崎真弓氏を迎え、今年1月に発足した池坊華道スロベニア協会の華道家ミロスラウ・ガヴラン氏とともに華道のデモンストレーションを行います。また、尺八演奏家・田嶋直士氏とRTVスロベニア放送交響楽団のビオラ奏者・岩木保道氏によるコンサートも同時開催致します。日本の文化に触れるタベをお過ごし下さい。

日時: 6月28日(火) 午後17:00

場所: コペル市内 Sv. Frančišek 教会ホール

(住所: Martinčev trg、6000 Koper)

●尺八とビオラのコンサート

尺八演奏家・田嶋直士氏とRTVスロベニア放送交響楽団のビオラ奏者・岩木保道氏を迎え、伝統的な邦楽と現代音楽を演奏します。尺八とビオラのコラボレーションをお楽しみ下さい。

日時: 6月29日(水) 午後19:00

場所: リュブリャナ市庁舎内レッド・ホール(Rdeča Dvorana)

(住所: Mestni trg 1、1000 Ljubljana)

【領事からのお知らせ】

●**イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起**

5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。

本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月(イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する)に当たります。

については、特にラマダン期間中に海外に渡航・滞在される方(スロベニア滞在中も含む)は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省や大使館が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。

●**「たびレジ」に簡易登録機能がつきました！**

たびレジとは、いざという時、在外公館などから緊急時情報提供を受けられる外務省の海外旅行登録システムです。

この度このたびレジに簡易登録機能がつきました。メールアドレスと対象国・地域だけを登録することで、実際の渡航の有無やその旅行期間に縛られることなく、継続的に領事メール及び最新海外安全情報メールを受け取ることが可能となります。(ただし、緊急時の安否確認の対象とはなりません。)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>